

会 議 録（公開部分）

会 議 名	平成30年度 自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第1回（専門部会）就労支援部会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の 別	議題 1 部会長及び副部会長の選出について 2 野田市の就労状況について
日 時	平成30年7月25日（水） 午後3時から午後4時30分まで
場 所	市役所2階 中会議室1・2
出 席 委 員	委 員 日向 直子 委 員 藤澤 洋一 委 員 永田 洋 委 員 藤井 周 委 員 野村 祐一 委 員 岡田 莉保 委 員 池田 実代
欠 席 委 員	部会長 柄澤 隆一 副部会長 鳥羽 敬俣 委 員 金城 和子 委 員 田中 徳寿
事 務 局	齋藤 剛（障がい者支援課相談支援係長） 佐田 徹（障がい者支援課相談支援係主任主事） 伊藤亜有美（障がい者支援課相談支援係主任主事） 原田 陽子（障がい者支援課計画係主査）
傍 聴 者	無し
議 事	平成30年度自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第1回専門部会（就労支援部会）の会議結果（概要）は、次の とおりである。
相談支援係長	1. 開会 平成30年7月25日午後3時、開会した。会議録作成のため 録音機を使用することの了解を得た。柄澤委員及び鳥羽委員、 金城委員、田中委員が欠席、野田市自立支援・障がい者差別解 消支援地域協議会より加藤満子会長が出席することを報告 2. 議題 議題1 部会長及び副部会長の選出について 委員の互選により部会長に柄澤委員が、副部会長に鳥羽委員が

	<p>決まる。柄澤部会長、鳥羽副部会長が欠席のため、相談支援係長が会議を進行した。</p> <p>議題2 野田市の就労状況について</p>
佐田主任主事	議題2について、説明を行う。
相談支援係長	<p>当会議は意見交換が目的となる。</p> <p>現場で発生している問題や昨年度の就労状況など、情報共有しておきたいことがあれば提示していただきたい。</p>
永田委員	部会に就労継続支援A型事業所の委員が参加しない理由はあるか。
相談支援係長	各事業所から委員を出すと、人数が多くなるため、当市の代表的な事業所に参加していただいている。
永田委員	当事業所としては工賃の上昇を目指したいが、野田市は工賃単価が低い。各事業所で業者を探す必要があるが、情報を集約する場があると助かる。市に情報を集めるという手もあると思う。
加藤会長	以前ハローワークが内職を回せるということで、説明会を開いてもらい、各事業所が受託するということがあった。また、優先調達法を活用して、袋入れ、シール貼りなどの作業を割り振るなどのことは、工夫すれば可能ではないか。
相談支援係長	去年1年間における、地域活動支援センターや就労継続支援B型、特別支援学校生徒の進路状況について各委員より情報の提供をお願いしたい。
藤井委員	昨年の卒業生については、20名のうち一般就労6名となった。内訳は市内2名、春日部市2名、流山市2名となっている。
永田委員	介護分野について就労実績はあったか。
藤井委員	昨年度において介護分野の実績はない。この分野は資格を求めてくることが多いのに加えて、利用者との接し方が難しく、誤解が生じて辞めてしまうことを気にする事業所が存在する。
加藤会長	学校で清掃検定を実施していると思うが、検定を生かした仕事はあるか。
藤井委員	野田特別支援学校では、窓清掃の部門に取り組んでおり、検定1級を取得した生徒は、学校の代表として競技会に参加できる。

	<p>ただし、検定を受けた結果、技量を高めるだけになってしまい、就労まで結びつかないケースがある。実際の会社の工程は、検定と違うため、その差異に対応していくことが知的障がい者は難しい。</p>
池田委員	<p>当事業所では、就労継続支援A型事業所への就労が中心となる。しかし、安易に就労継続支援A型事業所を選択した結果、一般就労に結び付かずに戻っている人が多い。事業所では作業をするだけで、ケアが少ないので、人間関係でトラブルが起きやすく、そのことについて相談に来る方がいる。</p>
相談支援係長	<p>就労継続支援A型事業所については、国も問題視しており、千葉県でも新規の事業所は指定されない傾向にある。あとは、既存の事業所が今後どのように改善を行っていくかが課題と考える。</p>
藤澤委員	<p>昨年度は1名一般就労し、今も元気である。このようなケースがあると、他の利用者にも良い影響を与える。地域活動支援センターさくらのアンケートでは、4割の利用者に就労の意向はあるので、本人に合った形で就労できればと思っている。ただし、精神障がい者は就労に対して具体的な希望がなく、抽象的にとにかく働きたいという方も多い。しかし、実際に働いてみると職場に適応するのが難しいということがあるので、実際にしてみる機会を持つことが重要と感じる。</p>
相談支援係長	<p>漠然と働きたいというよりも、実際に体験した方が良い。</p>
池田委員	<p>就労を希望されている方に実際にやりたい仕事を聞くと、内職をしたいと申し出ることがある。</p>
藤澤委員	<p>就労継続支援A型事業所でも箱折りがやりたいという利用者はいらる。</p>
日向委員	<p>昨年度はリサイクルセンターに就労された方がいるが、それ以降に一般就労はない。就労継続支援B型事業所は利用者を就労させるのが目的であることから、利用者を移行させて、その枠に新しい方を入れるという流れができるのが望ましい。しかし、安心のために保護者が現状維持を望むことがある。そのような保護者には就労継続支援B型事業所の役割を説明し、障がい者が社会で活躍していく流れを作りたい。</p>
野村委員	<p>現在の利用者は14名で、就労できるのは2名ほど。お金の執着しない方が多く、現状で満足している方が多い。生活介護も同様に現状維持を望む方の居場所になっている傾向にある。</p>

永田委員	当事業所には工賃が支えという方もおり、今後は就労したいというモチベーションになっている。企業からも、当事業所の利用者は仕事ができると評価を頂いている。
藤井委員	就労継続支援A型事業所については、他市には良い事業所があるが、クローズアップされない。
相談支援係長	<p>制度が始まった際には、制度の目的を理解し、理念を持って誠実に対応する事業所が多かったと思うが、制度が浸透した結果、収益を目的とした経営者が安易に参入していると思われる。</p> <p>3. 閉会</p>
相談支援係長	今後の開催の予定について説明を行う。その他は特に意見がなかったため、午後4時30分、閉会を宣言した。